



東白川小だより

令和5年9月21日(木) №7

競技10分・15分のために、努力するのは、どうしてでしょう？

「ひみつ。」「運動会の日まで、楽しみにしてて。」

教頭 越野 純



朝の応援練習の様子

今年の運動会は、9月30日（土）に開催予定です。朝の各教室からは、応援リーダーの元気な号令や、それに応える大きな歌声が聞こえてきます。日中も、全力で種目練習を行う姿があります。児童数が少ないので、それぞれの学年部で、種目内容を考えるにも、一つも二つも工夫が必要です。担任は、その準備に追われるので大変なのですが、職員室で話す様子は、何だか嬉し

そうです。先日も、1・2年生の先生方が、競技に使用する段ボール製のキャタピラの作り直しをして、やっとできたと話していました。それを坂道登校中の2年生に伝えると、

C:「えっ。そんなに遅くまで作ってたの？へえ〜。」

T:「どうやって、競争するのかな？」

C:「踊って、走って、それから…。ひみつ。あっ。練習を観に来れば。明日、3時間目だよ。」

T:「3時間目は、授業があるからなあ。観れないなあ。」

C:「運動会の日まで、楽しみにしてて。」

そんな会話を楽しんでいましたが、あいにく1・2年生の体育の時間が私の授業時間と重なっているため、どんな競技をどのように取り組んでいるのかをまだ観たことがありません。自分の頑張る姿を「楽しみにしてて。」と話す心を想像すると、1年生の手本となり、仲間と力を合わせたり、一喜一憂しながら真剣に取り組んだりする姿が頭に浮かびます。運動会には勝敗・順位が付いてきますが、結果だけを取り上げるのではなく、運動会という行事を通して、成長した自分に気付いてくれるような言葉がけをしたいと思います。

保護者・地域の方々にも、「全身全霊」で取り組む児童の姿を観ていただきたいです。



R5 運動会スローガン

笑顔あふれる学校へ「挨拶」の姿

二学期が始まり、「さきかけ挨拶」を意識している児童が多いことに気付きます。坂道で姿が見えると、大きな声で真っ先に挨拶してくれるのが、5年生の 摩陽都さん。続いて、弟の舞凰都さん。少し涼しくなった朝の時間が一層気持ちよく感じられます。二人に続いて同じ班の子たちも、挨拶の声が大きくなります。校内では、6年生がお昼の放送で、他学年の挨拶のよい姿を紹介しながら、広げようと呼びかけています。挨拶の気持ちよさを知る東っ子が、地域へも笑顔を広げられるようになるとよいです。